

柴田 英里 議員
無会派

問 「きんちゃん」グッズの拡充を
答 新商品の制作を計画中

○現在の「きんちゃん」を含めたグッズについて、以下を問う。

問 種類は。
答 市民生活部長 ポロシャツなど17商品とカプセルトイ2種類。
問 販売場所は。
答 観光協会の事務局と同協会出店のイベント。
問 年間販売額は。
答 令和7年度159万4千円。
問 収益や経済効果を評価しているか。
答 売上だけでの評価は難しい。
問 市外へのＰＲやシティプロモーションの認識は。
答 イベント、SNS等と組み合わせ、効果的に活用することが重要。
問 きんちゃんを活用した自主財源確保は。
答 収益確保の手段ではなく、市のPRやイメージづくりの役割を重視していきたい。
問 誕生30周年記念グッズや限定商品、新たな商品開発・販売は。
答 今年度中に新商品を販売する予定。
問 民間事業者との共同開発やライセンス事業の推進を。
答 積極的な考えはない。
問 ふるさと納税返礼品としては。
答 返礼品基準と照らし、判断する。

問 「きんちゃん」ブランド戦略を
答 一体的な情報発信を継続

問 市外イベントや観光事業での販売、PRは。
答 市民生活部長 例年、愛・地球博記念公園で開催の「愛知ふるさと市」に出店。
問 市のブランド資産として位置づけは。
答 現時点では慎重に考える必要がある。
問 シティプロモーションにおいて、「金魚」「きんちゃん」「弥富市」の一体的な情報発信は。
答 本市の特色をわかりやすく伝える上で有効。
問 オンラインショップで購入できる環境整備は。
答 本市に実際に来訪することに意義があると考えており、整備する考えはない。
問 インターネット販売で認知度向上やシティプロモーションにもつながるのでは。
答 シティプロモーションの成果に直結するわけではない。



▲きんちゃん